



平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月13日

上場会社名 ポケットカード株式会社
 コード番号 8519 URL <http://www.pocketcard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 恵一
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 池田 一彦
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5441-1924

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	9,191	—	673	—	673	—	780	—
22年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	13.18	—
22年2月期第1四半期	—	—

(注)平成22年2月期第1四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。また、対前年同四半期増減率についても記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	200,813	45,857	22.8	774.62
22年2月期	199,880	45,328	22.7	765.68

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 45,857百万円 22年2月期 45,328百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	4.25	—	4.25	8.50
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	4.25	—	4.25	8.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	18,100	△4.3	500	—	500	—	600	—	10.14
通期	36,200	△2.7	2,200	—	2,200	—	1,400	—	23.65

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 60,270,444株 22年2月期 60,270,444株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 1,070,596株 22年2月期 1,070,392株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 23年2月期第1四半期 59,199,939株 22年2月期第1四半期 59,200,563株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成22年1月13日公表の「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」とおり、平成22年3月1日にポケット・ダイレクト株式会社を吸収合併したことに伴い、連結子会社が存在しなくなったことから、平成23年2月期第1四半期決算短信より非連結となっております。

・本資料に記載した予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により、本資料に記載した予想と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や生産の持ち直しにより企業収益が改善するなど、景気に持ち直しの動きがみられたものの、一方で欧州諸国の財政悪化懸念に端を発した株価下落、高水準で推移する失業率など、予断を許さない状況が続きました。

クレジットカード業界につきましては、日常支出におけるクレジットカード決済の浸透や個人消費の持ち直し等により、カードショッピング取扱高は堅調に推移したものの、一方で、貸金業法完全施行への各種取組みの強化、高水準で推移する利息返還請求など、業界を取巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社は「クレジットカード本来業務への回帰とビジネスモデルの転換」を骨子とした経営改善計画に基づき、①選択と集中による営業戦略の再構築 ②経費全般の更なる見直しによる経営体質の改善 ③組織体制のスリム化と効率化ーを着実に進めるとともに、利便性の高い商品・サービスの提供を通じてオンリーワン・サービスの追求に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間における営業収益につきましては、ショッピングリボ残高及び保証債務残高が増加したことにより、割賦購入あっせん部門、プロセッシング部門の収益が堅調に推移した一方、融資部門において貸金業法完全施行に備えた与信の厳格運用等を実施し融資残高が減少した結果、営業収益全体では91億91百万円となりました。

営業費用につきましては、業務全般に亘る効率化の推進やコスト削減に努めたことに加え利息返還関連費用が減少した結果、85億17百万円となりました。

以上の結果、営業利益は6億73百万円、経常利益は6億73百万円、四半期純利益は7億80百万円となりました。

なお、当第1四半期会計期間から初めて四半期財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて9億32百万円増加し、2,008億13百万円となりました。これは、営業貸付金が32億64百万円減少したものの、割賦売掛金が38億57百万円増加したこと等によるものです。

負債合計につきましては、前事業年度末に比べて4億3百万円増加し、1,549億56百万円となりました。これは、利息返還損失引当金が4億30百万円減少したものの、買掛金が11億96百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計につきましては、前事業年度末から5億29百万円増加し、458億57百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億28百万円増加したことによるものです。

また、自己資本比率は、22.8%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成22年4月13日発表の予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 平成22年5月31日	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 平成22年2月28日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,256	7,692
割賦売掛金	64,058	60,200
営業貸付金	122,474	125,739
その他	16,535	16,637
貸倒引当金	△19,219	△19,216
流動資産合計	192,106	191,054
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	76	76
器具備品(純額)	183	174
有形固定資産合計	259	250
無形固定資産		
ソフトウェア	3,932	3,877
その他	44	39
無形固定資産合計	3,976	3,916
投資その他の資産		
投資有価証券	251	248
その他	4,239	4,432
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	4,471	4,660
固定資産合計	8,707	8,826
資産合計	200,813	199,880

(単位:百万円)

	当第1四半期会計期末 平成22年5月31日	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 平成22年2月28日
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,149	8,952
短期借入金	24,868	41,430
1年内返済予定の長期借入金	24,163	26,513
コマーシャル・ペーパー	30,700	11,700
1年内償還予定の社債	19,000	19,100
未払法人税等	146	8
賞与引当金	205	129
ポイント引当金	490	690
債務保証損失引当金	1,743	1,541
その他	2,570	3,000
流動負債合計	114,037	113,064
固定負債		
長期借入金	12,003	12,129
債権流動化債務	22,000	22,000
退職給付引当金	259	268
利息返還損失引当金	6,610	7,040
その他	45	50
固定負債合計	40,919	41,488
負債合計	154,956	154,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,268	11,268
資本剰余金	12,730	12,730
利益剰余金	23,154	22,626
自己株式	△1,299	△1,299
株主資本合計	45,853	45,325
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	2
評価・換算差額等合計	3	2
純資産合計	45,857	45,328
負債純資産合計	200,813	199,880

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日
営業収益	
割賦購入あっせん収益	2,364
融資収益	5,397
その他の収益	1,428
営業収益合計	9,191
営業費用	
販売費及び一般管理費	
販売手数料	913
ポイント引当金繰入額	126
貸倒引当金繰入額	2,525
債務保証損失引当金繰入額	603
従業員給与手当賞与	580
賞与引当金繰入額	72
その他	2,832
販売費及び一般管理費合計	7,653
金融費用	
支払利息	499
その他の金融費用	363
金融費用計	863
営業費用合計	8,517
営業利益	673
営業外収益	
雑収入	2
営業外収益合計	2
営業外費用	
雑損失	2
営業外費用合計	2
経常利益	673
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	378
利息返還損失引当金戻入額	14
その他	2
特別利益合計	394
特別損失	
固定資産除売却損	11
減損損失	3
特別損失合計	15
税引前四半期純利益	1,053
法人税、住民税及び事業税	120
法人税等調整額	152
法人税等合計	272
四半期純利益	780

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期会計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

該当事項はありません。

6 営業実績(参考)

項目 \ 期別	前第1四半期	当第1四半期	前期
取 扱 高 (百万円)	87,075	85,843	343,403
割賦購入あっせん	66,987	70,746	273,941
融資	18,919	14,310	65,301
その他	1,168	786	4,160
営 業 収 益 (百万円)	9,598	9,191	37,532
割賦購入あっせん	2,053	2,364	8,657
融資	6,436	5,397	24,018
プロセッシング	793	1,112	3,718
その他	314	316	1,137
残 高 (百万円)	206,022	201,983	201,840
割賦購入あっせん (A)	69,509	79,508	76,100
融資 (B)	136,411	122,469	125,718
融資代行	101	5	20
貸倒関連費用 (百万円) (C)	2,816	2,808	11,942
同営業債権残高比率 (%) (C / (A+B))	5.47	5.56	5.92
有 効 会 員 数 (千名)	3,827	3,651	3,753

- (注) 1 当社は、連結子会社であったポケット・ダイレクト㈱を当第1四半期に吸収合併したことに伴い、平成23年2月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しておりますので、前第1四半期及び前期の数値については連結の数値を記載しております。
- 2 残高は、債権流動化によりオフバランスとなった割賦売掛金(平成21年5月31日現在14,400百万円、平成22年5月31日現在15,450百万円及び平成22年2月28日現在15,900百万円)を含めた金額で表示しております。
- 3 残高は上記のほか、金融サービス事業に係る保証債務残高がそれぞれ平成21年5月31日現在33,136百万円、平成22年5月31日現在45,766百万円及び平成22年2月28日現在40,181百万円あります。
- 4 貸倒関連費用営業債権残高比率は、年率換算後の数値であります。